

# 県内の医療的ケア児者と支援の状況

## 医療的ケア児者数

県内市町村を対象に調査したもの。

【県内医療的ケア児者数(令和5年1月1日現在)】 (人)

区分	計	(再掲)							
		仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	仙台市
医療的ケア児 (20歳未満)	333	18	85	29	3	12	17	12	157
医療的ケア者 (20歳以上)	301	6	52	25	5	9	6	6	192
計	634	24	137	54	8	21	23	18	349

## 医療的ケア児等支援の協議の場

医療的ケア児者の支援についての現状把握や支援内容等に関する、地域の関係者による協議の場を設置。

【「協議の場」設置状況(R4年度)】

区分	市町村	県
設置数(箇所)	24	1

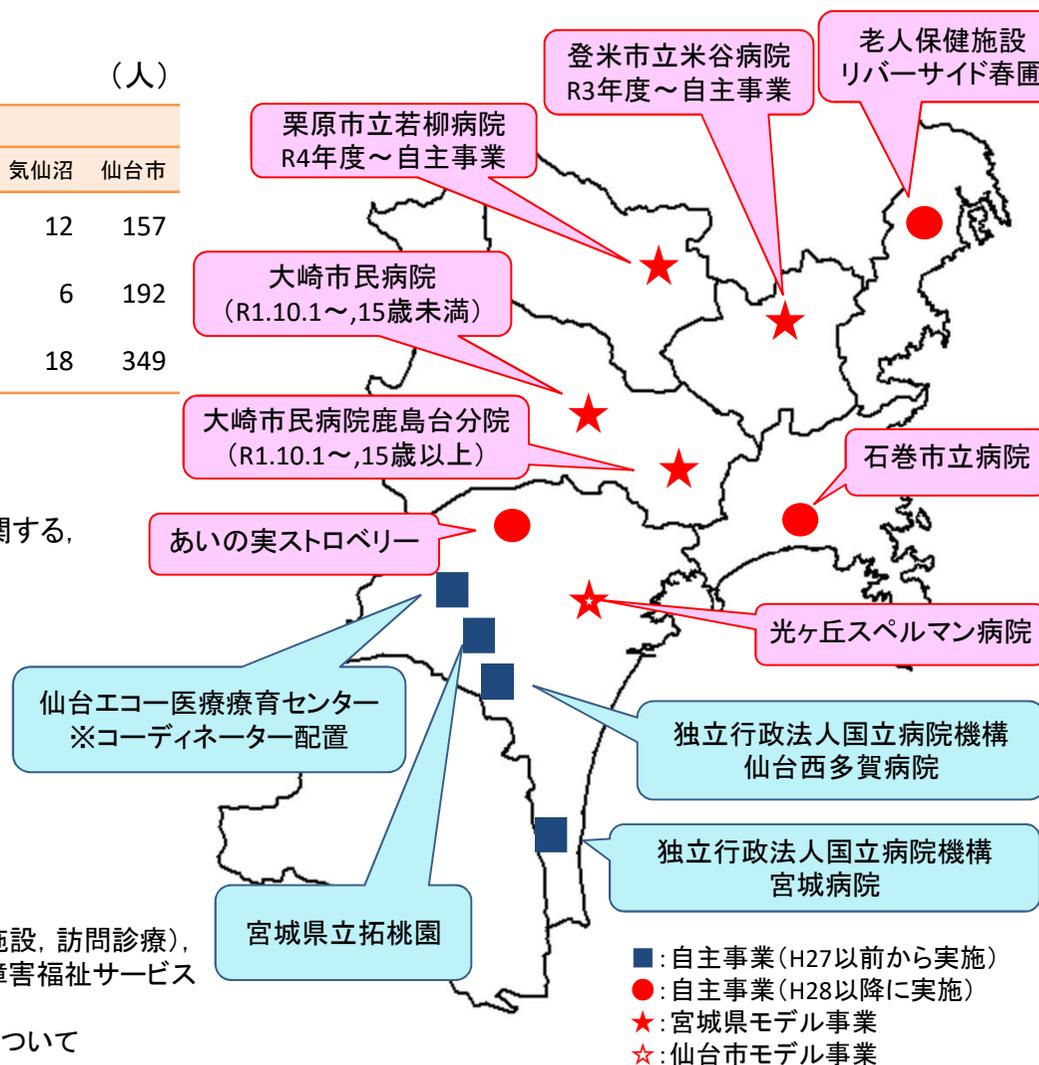
## 【全県】宮城県医療的ケア児等支援検討会議

<R5開催状況>

参集者：当事者、家族、医師(急性期病院、医療型短期入所施設、訪問診療)、医療的ケア児等コーディネーター・相談支援専門員、障害福祉サービス事業所関係者、保育関係者、教育関係者、行政等

協議内容：宮城県における医療的ケア児等支援の現状と課題について

## 医療型短期入所事業所開設状況



## 県の施策1

# 医療的ケア児等相談支援センター運営事業

### 概要

- 名称：宮城県医療的ケア児等相談支援センター（愛称：ちるふぁ）
- 所在地：宮城県仙台市泉区南中山3丁目19-12（電話：022-346-7835）
- 開所日：平日月曜～金曜 土日祝日及び年末年始は休み
- 開所時間：8:30～17:30 / 相談受付時間：9:00～16:30
- スタッフ：看護師1名、理学療法士1名、社会福祉士1名  
全員が相談支援専門員の有資格者、医療的ケア児等コーディネーター養成研修修了者  
医師等を専門職アドバイザーとして委嘱

### ★医療的ケア児とは★

日常生活において恒常的に人工呼吸器による呼吸管理や喀痰吸引、経管栄養等の医療的ケアが不可欠な児童

### 業務内容

- ① 総合的・専門的な相談支援  
医療的ケア児や家族、関係機関等からの相談に対応
- ② 情報の発信及び研修
  - ・県民や行政担当者へ関連制度やその窓口、最新の施策情報の集約・ホームページ等での発信
  - ・支援者等対象の研修開催（※医療的ケア児等コーディネーター養成研修事業及び医療的ケア児等コーディネーターフォローアップ研修を含む）
- ③ 関係機関との連絡調整  
支援要請に基づく連絡調整、協議の場等への参画  
地域の支援体制強化のための連携
- ④ 医療的ケア児等支援に係る調査等

### 運営

- 実施主体  
宮城県（一般社団法人宮城・仙台障害者相談支援従事者協会への委託事業）  
※相談支援専門員の職能団体

### 根拠

「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」（R3.9施行）  
医療的ケア児や家族の支援に関する施策の実施が地方公共団体の責務

### ※医療的ケア児等コーディネーター養成研修等事業（H30～）

【医療的ケア児等コーディネーター/支援者養成数（人）】

- 医療的ケア児等支援を総合調整する人材（コーディネーター）、直接支援を行う者（支援者）を養成。（県・仙台市共同実施）。

区分	H30	R1	R2	R3	R4	R5	計
<b>コーディネーター</b>							
相談支援専門員、看護師、保育士、理学療法士、作業療法士等	35	39	休止	28	29	44	175
<b>支援者</b>							
相談支援専門員、看護師、保健師、保育士、介護福祉士、行政担当者等	36	69	休止	40	74	66	285

### 効果

- ・福祉、医療、教育等、関係機関同士の連携体制構築
- ・医療的ケア児等支援の裾野拡大

## 県の施策2

# 医療的ケア児等コーディネーター配置事業

### 課題

- 平成28年度以降に開設した医療型短期入所事業では、重症心身障害児者等が、サービスの利用を検討する際に必要となる情報の周知が不足している
- 職員の障害児者へのケアの経験の少なさから生じる受入への不安などにより、利用ニーズに対して十分に応えることができていない

### 事業の目的

- 課題に対応するコーディネーターを県・仙台市共同で配置し、利用希望者が円滑に医療型短期入所サービスを利用できる体制の構築を目指す

#### 新設事業所

- 利用者・家族との信頼関係構築に時間を要する
- ノウハウ不足により、スタッフの不安が大きい

#### ノウハウ共有

- 受入れ可能人数に限りがあり、新規利用の受入困難
- 週末・学校の長期休暇時等は、予約が重複し、断ることも多い

#### 老舗事業所

#### 信頼関係構築

- 信頼関係がないため、新設事業所の利用に不安感
- 利用可能な事業所が遠方の場合、遠距離移動を強いられる

#### コーディネーター

（仙台エコー医療療育センターに  
県・仙台市で共同設置）

#### 情報集約・発信

#### 相談内容充実

- 各短期入所事業所で受入れ可能な障害状況を知りたい
- 適切なサービス等利用計画の作成、情報提供が困難

#### 相談支援

## 県の施策3

# 多様な子どもの安心子育て支援事業

### 課題

#### 【課題】

- ・医療的ケアに対応する看護師が全国的に不足し、障害福祉サービス事業所においても人材確保が困難
- ・医療的ケアの事例の少なさから、ケアのイメージが掴めず受入に消極的

### 事業の概要

